



図書館だより

103号



令和7年6月3日

秋草学園短期大学図書館

気象庁の発表では、今年の梅雨入りは6月中旬と例年より遅いそうですが、曇りや雨のすっきりしない天気が続いています。しばらくは室内での活動を充実させるといって、読書を思うさま楽しみたい季節です。ただ、本にとっては少し困る季節でもあります。本が雨に濡れてしまうと、湿気でボロボロになって本の状態が悪くなってしまうのです。また、本が濡れて湿った状態で放置するとカビが生えてしまったりもします。雨が多いこの時期は、ビニールの袋（ジップロック等）に保護するのがおすすめです。試してみてください。

幼児教育学科と地域保育学科の学生さんは、もうすぐ実習が始まります。それに伴って、図書館では実習に行く学生さんに長期貸出を行っています。公共図書館ではすぐに貸出になってしまう人気の絵本や新刊の本・紙芝居、また実習の参考になる本なども、まだ本学の図書館にはあります。図書館の開館時間は、月曜日は16時50分までですが、火曜日～金曜日は21時10分までとなっているので、もしもの時には利用して下さい。

夏休みになると、図書館の開館日や開館時間が変則になります。別途で図書館カレンダーを作成しますので、よく確認して下さい。
(こちらからも確認できます)

長期貸出 (貸出可能冊数: 8冊)
開始日: 5月26日(月)
返却日: 6月25日(水)



今月の特集…『美味しい本 特集』



いよいよ梅雨の季節がやってきます。気を付けたいのは気温差による体調不良や、食中毒。安全で美味しい物をいっぱい食べて、元気にのりきりたいですね。食欲増進に貢献する本の紹介です。

- 「朝・昼・晩の絶品トーストレシピ」 フジパン株式会社 監修/幻冬舎 【596-7】
…日本の食パンは海外のものに比べてもちりしているとか。野菜や果物とで立派な一品になります。
- 「一日がしあわせになる朝ごはん」 大野 正人 著/文響社 【596-4】
…きっと朝が待ち遠しくなります。自分の手でつくれる、確実なしあわせ、それがこの本にはあります。
- 「かもめ食堂」 群 ようこ 著/幻冬舎 【B913-4】
…フィンランドはヘルシンキにオープンした食堂のお勧めメニューは、おにぎり。環境も美味しさの要因です。
- 「ランチのアッコちゃん」 柚木 朝子 著/双葉社 【913.6-1】
…上司アッコ女史となぜか1週間ランチを交換することになり、そこからあれよあれよと世界が広がります。
- 「精霊の守り人」 上橋 菜穂子 著/偕成社一 【913.6-7】
…本格的なファンタジーなので物語に引き込まれるのですが、出てくる料理がとても素朴で美味しそうです。
- 「はなちゃんのみそ汁」 安武 信吾 ほか著/文藝春秋 【B916-4】
…はなちゃんは、毎朝自分でみそ汁を作ります。33歳で逝った母との約束を守る、真実の記録です。
- 「湯気を食べる」 くどう れいん 著/オレンジページ 【914.6-7】
…歌人の書きあげるエッセイは、言葉にインパクトがあります。生きている、その感覚を共有しましょう。

他にもたくさんあります。気になる方は是非、ご来館ください。

今月の特集本は、カウンターにある「今月のおすすめ」コーナーに置いてあります。



～図書館職員が選ぶ～



今月のピカッと光る一冊



『カフネ』 阿部 暁子 著／講談社／913.6-ア

「私ね、赤ちゃんを見ると、いつもどうやってその子をさらうか考えるの」そういう薫子は、本当に誘拐をして犯罪に走ろうと考えているわけではなく、自分なら赤ちゃんを上手にあやせるし育てられるはずと、妄想して楽しんでいるのです。原因は、突然離婚されたから。離婚の二か月後には、弟春彦が突然亡くなります。弟は、まだ29歳。その若さでなぜか遺言書を残しており、その遺言の執行者に薫子を指名していました。相続人は両親と薫子、そして春彦の元婚約者のせつな。不思議なオーラを放つせつなは時に、不愛想で常識知らずの様にみえます。しかし、人生のどん底で部屋は荒れ食べることもままならず倒れる薫子に、せつなはそっけない態度のまま、温かくて優しい味の豆乳素麺を食べさせます。春彦の死の真相や、婚約を破棄したのに残るせつなとの絆とはなにか、気になった薫子はせつなの家事代行ボランティアを手伝い始めます。

令和七年の本屋大賞を受賞したこの作品からは、現実の日本が抱える問題、高齢化と単身世帯の増加による、孤独な生活と長くなった人生について考えさせられます。皿良ゆうさんや瀬尾まいこさんの作品にも見られるように、家族の形態が変容していく今、新しい家族の形、もしくは生き方を模索しているようです。私たちは時代の転換期にいます。孤独・孤立対策推進法も2年前の6月に公布されました。孤独は精神的にも肉体的にも悪影響を及ぼすことが認知されて来たからです。小説の中で示される優しい世界は、将来への解答の一つになるのではないのでしょうか。「人間が想像できることは、人間が必ず実現できる」と言ったのはベルヌですが、小説に現実が追いつくかもしれないと思うと、楽しくなります。

推薦者 鈴木



貸出ランキング ～4・5月～



貸出回数	書 名	著 者 名	出 版 社
4回	こんとあき	林 あきこ 作	福音館書店
3回	おべんとうバス	真珠 まりこ 作・絵	ひさかたチャイルド
3回	図書館に火をつけたら	貴戸 湊太 著	宝島社
2回	0～5歳児の発達にあった遊び パーフェクトBOOK		ナツメ社
2回	しろくまちゃんのホットケーキ	わかやま けん 著	こぐま社
2回	にじ かがくのとも絵本	いせ ひでこ 絵	福音館書店

※貸出回数が同数のものが複数冊あったため、その中から司書がピックアップしました。

編集後記



令和の米騒動というのだそうですが、やっとお米が入手しやすくなりそうです。この春から一人暮らしを始めた人には、自分がいったいどのくらいの量の米を必要としているかさえ、初めて考えたのではないのでしょうか。健康を維持して学業を継続する為にも“食”は大切です。図書館には節約レシピや食事になるトーストや時短レシピ本等あります。本だからこそ得られる知恵や工夫があるかもしれません。利用しに来てください。

皆さんに安心して利用してもらえる図書館になるように努めていますが、ご意見やご要望等がありましたら、館内の投書箱へ投函してお知らせください。

次号の『図書館だより』は2025年9月に発行予定です。バックナンバーはこちら
担当 鈴木

